

QA/QC 委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 24(2012)年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	西尾 禎治◎、遠山 尚紀○、青山 裕一、秋田 和彦、穴井 重男、石川 正純、岡本 裕之、川田 秀道、木藤 哲史、熊崎 祐、黒岡 将彦、佐々木 浩二、隅田 伊織、高倉 享、高橋 豊、辰己 大作、田村 昌也、照沼 利之、中村 光宏、成田 雄一郎、芳賀 昭弘、花田 剛士、保科 正夫、三津谷 正俊、矢野 慎輔
今年度課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本委員会での今後の活動案の検討 ・ 日本医学物理学会、日本高精度放射線外部照射研究会、日本放射線技術学会、日本放射線腫瘍学会の4団体によって作成された呼吸性移動対策ガイドラインの監修の実施 ・ 粒子線治療 QA/QC ガイドラインの第三者的評価の実施 ・ 学会員からの自主的活動の成果物 PDF 版の公表方法 ・ IMRT 用線量分布解析ソフトの精度評価検証 WG の立ち上げと実施
委員会開催 履歴	4月13日 於:横浜 平成24年度第一回医学物理学会 QA/QC 委員会(旧メンバー) 9月14日 於:筑波 平成24年度第二回医学物理学会 QA/QC 委員会
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本委員会での今後の活動案の検討 平成24年度第二回医学物理学会 QA/QC 委員会において、委員会メンバー各人から活動実施内容の案を出して貰い、その内容に関する討論を行った。 ①:IMRT の QA の合理化に向けた MLC log 解析、②:新規電離箱等、測定器の評価、③:極小照射野の線量測定法、④:SBRT の手計算実施方法、⑤:IGRT の被ばく線量評価法、⑥:IMRT 患者個々の QA 法、⑦:IMRT の CT 撮影から治療開始までの期間の調査、⑧:IMRT の plan の質の評価、⑨:Image Fusion 時の注意点、⑩:各施設の工夫を他施設へ提供する手法、⑪:HP での物理的教育コンテンツの整備、⑫:QA の意味・実施方法・数値の正しい解釈・理解の支援 平成25年度は、これらの実施項目に優先的順位を付けて、幾つかのサブグループを作って稼働していく予定でいる。 ・ 4団体によって作成された呼吸性移動対策ガイドラインの監修の実施 日本医学物理学会、日本高精度放射線外部照射研究会、日本放射線技術学会、日本放射線腫瘍学会の4団体によって呼吸性移動対策ガイドラインを作成した。作成されたガイドラインの英語版を Journal of Radiation Research (JRR) へ投稿し、アクセプトされた。 ・ 粒子線治療 QA/QC ガイドラインにおける第三者的評価者 粒子線治療 QA/QC ガイドラインの作成が行われており、QA/QC 委員会メンバーの他に粒子線治療の有識者を加えたメンバーによる査読委員会を QA/QC 委員会の下に設けて対応するようになった。現在、作成者側からの最終版ガイドラインの提出待ち状態であり、提出後、速やかに対応する予定である。 ・ 学会員からの自主的活動の成果物 PDF 版の公表方法 JSMP ホームページのマイページを活用して提供できるシステムの構築を本理事会へ依頼し、システム構築について具体的な検討がなされている状況になった。 ・ IMRT 用線量分布解析ソフトの精度評価検証 WG の立ち上げと実施 IMRT 等の線量分布解析等で多用されている様々なメーカーの線量測定フィルム用解析ソフトの精度評価を検証する WG を QA/QC 委員会内に立ち上げ、JSMP TG とて実施する方針で検討中であるが、現時点では具体的な活動実施ができていない状況にある。